



常設展リニューアル

< 1 階展示室 > 「国会の速記（衆議院）」

5 月 10 日から、速記の歴史や会議録の作成に関する展示を始めました。

主な展示品



【判こ】

手書きの時代、よく使われる単語を判こにして使用した。「残念」「遺憾」「生活」「心配」なんていう判こがあります。

【極東国際軍事裁判記録 1946 年（昭和 21）】

衆議院の速記者は、嘱託として東京裁判の執務も行った。溥儀（ラストエンペラー）の証言をご覧ください。

【衆議院帝国憲法改正案委員小委員会英文会議録 1946 年（昭和 21）】

GHQ に提出した英文の会議録。

< 絵画紹介 >



「時計塔」高橋正博



「尾崎行雄像」田村丈馬



「国会議事堂」保科正裕



「尾崎行雄像」堀越文男



「時計塔」正岡泰輔

平成 28 年特別展のご案内

平成 28 年の特別展は、『『普通選挙をめざして—犬養毅・尾崎行雄—』特別展』と題し、議会政治実現のため閥族と果敢に闘う一方、政党の腐敗を戒め、普通選挙の実現に努めた両者の動向を関係資料により紹介することとなりました。

昨 27 年の公職選挙法等の改正により選挙権年齢が満 18 歳以上に引き下げられ、今夏の参議院議員選挙から実施されます。両者が第 1 回衆議院議員総選挙から当選し、かつ普通選挙を目指して活動したことを通じて、議会制度の根幹である「選挙」の意義を特に若い世代に伝えることができればと思います。



いぬかい つよき
(犬養 毅)



おさき ゆきお
(尾崎 行雄)

[国立国会図書館所蔵]

開催期間	11月9日(水)～12月2日(金) の24日間 ※11月9日(水)は13:00から開催
開館時間	9:30～17:00 ※入館は16:30まで
備 考	期間中無休 入館無料

来館者紹介

去る 5 月 18 日(水)に実施された「千代田ディスカバリーミュージアム『国会へ行こう！—国会議事堂周辺で憲政を学ぶ—』」(主催：千代田区ミュージアム連絡会、協力：千代田区観光協会)では、29 名の参加者が国会参観後に当館に来館され、当館職員(学芸員)の案内で展示室内を見学されました。この日は、年に一度の日本水準原点公開に当たった



5 月 18 日見学風景

ため、当館がある国会前庭(北庭)の日本水準原点標庫内も見学され、まれな体験に「感激した」との感想を多数いただきました。

また、同月 28 日(土)、「薩長両藩ゆかりの地歴史探訪—山口・鹿児島連携まち歩きツアー—」一行 33 名が来



5 月 28 日見学風景

館されました。薩長同盟 150 年を記念して企画されたツアーということで、当館職員(学芸員)の説明のもと「薩長同盟裏書(複製)」など、主に両県にゆかりのある展示資料を参観されました。

憲政の十傑 —西園寺公望—



〔国立国会図書館所蔵〕

【略歴】 1849 年（嘉永 2）、右大臣徳大寺公純の次男として生まれ、幼時に西園寺家を継ぐ。1882 年（明治 15）、伊藤博文の憲法調査に随行。

第 2・3 次伊藤内閣の文相、枢密院議長。1903 年、立憲政友会総裁となり二度にわたって内閣を組織。その後、桂太郎と交代で政権を担当して「桂園時代」と呼ばれた。再度の首相退陣後は、山県有朋・松方正義の死去により唯一の元老として後継首相についての諮問に答えるなど、国政に重きをなした。1940 年（昭和 15）没。

【憲政において果たした功績】

第 3 次桂内閣を総辞職に追い込んだ第 1 次憲政擁護運動をきっかけに、政党内閣を要求する気運が高まった。1918 年（大正 7）の米騒動を契機に山県系の寺内正毅内閣が倒れた後、西園寺は元老として政友会総裁原敬を後継首班に推し、大正期の政党内閣時代の幕を開いた。

1921 年 11 月、初の「本格的政党内閣」を組織した原首相が暗殺されると、次期首相には同じく政友会の高橋是清が選ばれた。しかし、党内が安定せず、以後、1924 年の第 2 次憲政擁護運動に至るまで加藤友三郎・山本権兵衛・清浦奎吾と三代の非政党内閣が成立した。

1924 年 5 月の衆議院議員総選挙は、

「憲政擁護、特権内閣打破、政党内閣制確立」を掲げる野党護憲三派（政友会、憲政会、革新倶楽部）の勝利に終わった。西園寺は総辞職に追い込まれた清浦内閣に代えて、新たに第一党となった憲政会総裁加藤高明を後継首班に奏薦した。選挙の結果が直接次期首相の選択に結び付いたのは明治憲法下で初めての例であり、戦前唯一の例である。

この画期的政変において元老西園寺の果たした役割は極めて大きかったと言わねばならない。

【エピソード】

第 1 次世界大戦後の 1919 年 1 月、パリ講和会議に西園寺は全権委員として渡仏したが、随員の一人であった近衛文麿は、西園寺に三度叱責されたと後に語っている¹。一度目は寄港先の公園で花を手折ったときにその不道德さを、二度目は税関での手荷物検査をどうやってうまく言い逃れようかと他の者と話をしているときにその心掛けを、それぞれ叱られた。そして三度目は、講和会議開催中に全権のみの会議に随員は同行できないが新聞記者なら入ることができることを知った近衛が、知り合いの記者と入れ替わって会議を傍聴したことを伝え聞いたとき、「そんな真似をするなら、今日から随員を免職する」と西園寺からひどい剣幕で叱責された。それほど、西園寺は嘘とごまかしの嫌いな人であったという。

¹ 近衛文麿著『清談録』（千倉書房）1936 年（昭和 11）

所蔵資料紹介

『秘書課日誌』『警務課日誌』が語る

五・一五事件]



五・一五事件『警務課日誌』

1932 年（昭和 7）5 月 15 日の 17 時 30 分頃、首相犬養毅（つよき）¹ が官邸で海軍青年将校らに銃撃されたのをはじめ、政友会本部・日本銀行などが襲われる事件が起きた。

衆議院警務課では、事件直後から議院の各門や議長官舎に守衛を派遣・増員するなどの警備強化にあたった。また、更なる増強のため、非番も全部召集して刻々と体制を整えていった。

やがて犬養は人事不省となり、23 時 26 分、顔に白布がかけられた。内閣からは、翌 2 時 35 分に犬養の死去と蔵相高橋是清が臨時兼任首相に任ぜられた旨の発表があり、その間は病氣危篤とされた。²

朝になり、守衛長は昨夜来の警備をねぎらい、第 62 回議会の開会が迫っており、不測の事態に備え、今後も最善を尽くすようにと訓示した。また、午後 3 時から議長官舎において各派協議会が開かれ、その結果、後日花輪や弔詞が犬養のもとに贈られた。

¹ 『議会制度百年史』衆議院議員名鑑。犬養は衆議院に提出した直近の履歴書に「ツヨキ」とよみを記載している。なお、一般からは音読みで「キ」と呼ばれていた。

² 当日の時刻については、犬養道子『花々と星々と』所収「晴れた暗い日」、『秘書課日誌』・『警務課日誌』も同様の記述があり、衆議院事務局においても事件経過を概ね把握していたことが分かる。病氣危篤については、宮内省の「内閣総理大臣犬養毅特旨叙位ノ件」昭和 7 年 5 月 16 日起案裁可。さらに 16 日付『東京朝日新聞』に「首相の重職にあつて政務上種々の事情があるので、当日（15 日）は喪を發せず、本日發喪す」とあり、制度上の要請に基づいたことの傍証となる。なお、首相官邸ホームページは、16 日死去となっている。

< 編集後記 >

今号が出る頃は、梅雨入りですが、梅雨が明けるといよいよ夏本番となります。皆様も暑さに負けないよう健康に気をつけましょう。さて、誌面にも紹介させていただきましたが、5 月 18 日に千代田区ディスカバリーミュージアム、同月 28 日に山口・鹿児島連携まち歩きツアーの関係者の方々が来館されました。両日とも天候に恵まれ、特に 5 月 18 日は、日本水準原点の公開日でもあり、多くの方にご参観いただきました。これからも広報活動の充実に努めていきたいと思ひます。今号もまた、画伯たちに誌面にご協力いただきました。彼らの視点・色彩感覚には驚かされるばかりです。（若林）

【発行人】 花島克臣

【編集責任者】 高橋和彦

【編集長】 若林智伸

【印刷・発行】 衆議院事務局 憲政記念館

〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-1-1

TEL : 03-3581-1651 FAX : 03-3581-7962

本紙について、私的利用・引用等著作権法で認められた行為を除き、無断で改変・転載・複製を行うことはできません。引用される場合には出所を明示し、また、転載等を行う場合にはあらかじめ当館へご連絡ください。